

会 議 録

会議名称	第2回大空町営牧野運営検討委員会	
開催日時	令和4年3月30日(水)	10時00分から 11時25分まで
開催場所	大空町役場3階1号会議室	
出席者の氏名	大空町営牧野運営検討委員会出席者氏名(敬称略) 石田 正俊、朝妻 政樹、梅田 敏則、後藤 忍、遠野 祐一、 河西 悟、植田 泰弘 作田産業課長、坂本産業課農業グループ主幹、佐藤産業課農業グループ主事	
実施内容	前回の質疑事項等について 1 近隣市町の町営牧場の状況について 2 管理体制の検討について 3 余剰草地で羊を飼う想定について 今後の運営方針に係る検討について その他	
会議資料の名称	令和3年度第2回大空町営牧野運営検討委員会 【資料2】近隣市町の公共牧場の現状について	
審議内容及び結果	<p>【審議内容】</p> <p>◆開会</p> <p>◆委員長挨拶</p> <p>◆委員紹介・出欠報告</p> <p>◆議題</p> <p>1 前回の質疑事項等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町の町営牧場の状況について ・管理体制の検討について <p>委員) 閉鎖と継続の両方を含め検討されることでいいのか。</p> <p>事務局) 正直収支の改善が厳しい状況である。預託される農家が減っている状況もある。件数が減っていることで公共という位置づけについても厳しくなっている。管理されている方が高齢でこの先できない状況の中で、新たな指定管理の受入は厳しい状況では</p>	

ある。

委員) 繁殖牛と育成牛の大きな違いと、育成牛に対して牧野は使う必要はないのか。

委員) 繁殖牛は受胎して妊娠過程を町営牧野で預けることになっていて、育成牛は産まれて販売するまで10か月ぐらいだがこの子牛のことを育成牛という位置づけでやっている。内容だけ見ると、他の牧野も収益があつてというところは少ないのが事実なので、そこをどうするかというよりは合併するとかそういう方法にいかないと、他のところも存続できないという気持ちもあり、ただ、美幌町では受け入れできるという話があつた。

事務局) 美幌町は牧場が二つあり、農協で管理している日並と今はやっていないが町営の峠牧場があつた。

委員) 近くで受入してくれるというところもあるので、どの方向に進んでいくかこの会議で話していくと思うが、現状をわかっていたら、答えというか先はそのようになっていくのかなという気持ちはある。

委員) 育成専門の農家はいるか。

委員) 子牛だけ育てている農家はいるが、女満別は繁殖がメインである。

委員) 主に繁殖をやっているのか。

委員) 繁殖をして子牛を育成して市場に出している。

委員) 黒字となっている町もあるのでそういうところの検討も入れながら進めた方がいいのではないか。

委員) 当初農協でも運営助成をしてほしいとの要望が町からあつたと聞いているが、農協事業の畜産事業自体が今も赤字であり、さらなる負担が増えると他の組合員からの理解も得られないということもあり、なかなか負担できないという過去もあつた。美幌農協の牧野も受入が問題ないということを言っているので、そういうところも選択肢なのかなと思う。

委員) 意見として、女満別の牧野でないとだめという人は正直いないのではないか、少し遠くても一回入ってしまえば帰ってくるまでは大丈夫なので、どうしても女満別の牧野にという人はいるのかなと思う。

委員) 農協とともにということではなくて役場主導でやってきた経緯があるので、この際農協がきちんとある程度の考え方を示していくことだと思う。町としては町民に対する赤字をどうするのか

が大きいから検討委員会を出されたのでは。もう少し農協がこのことに対応していただきたいと感じる。

委員) 正直牧野に行ったことがないので、牛を預けている時期に一度見てみたらいいと思う。イメージがわきやすい。

事務局) 次回までに調査・確認させていただく事項について、①調査の結果、置戸町が黒字となっているので、その部分を掘り下げた内容を確認する、②置戸町にオホーツク網走が入れた理由、③羊の飼育についての聞き取り、③農協の考え方についての内部協議させていただく、④現地視察ができるか検討、⑤実際預けられている方のアンケート調査と預けてはいない他の繁殖農家さんの意向調査、以上5点について次回の会議に諮ることとする。

◆閉会

11時25分終了